

研究助成の概要. II

- ① 高速道路ネットワーク整備に着目した COVID-19 時代の新たな地方創生
- ② 国立大学法人 高知大学 自然科学系理工学部門
- ③ 講師 坂本 淳
- ④ <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~jsak/>

1. 研究分野及び題目

(II-5) デジタル道路地図の利活用に関する研究

2. キーワード

8 の字ネットワーク、人口流動データ、COVID-19、web アンケート調査

3. 研究内容

(1) 研究の目的

COVID-19 は都市空間の大きな転換をもたらした。感染拡大が続く都市部では、テレワークや時短営業が継続している。また、海外のロックダウンを教訓とした産業の国内回帰の兆候がある。地方創生は新たなステージに入ったと言える。そこで本研究は、四国の高規格幹線道路プロジェクト「四国 8 の字ネットワーク」の完成を見据えたうえで、四国外の都市圏からの視点で、将来的に有望な地方創生メニューを提案する。

(2) 研究のゴール

まず、四国の道路ネットワークを対象とし、経路解析を用いて、四国各地への現在・将来の移動時間の変化に関する定量的な評価を行う。次に、近畿・中国地方の個人や企業を対象とした web アンケート調査によりニーズを把握する。さらに、地理的条件（時間価値）や地域のポテンシャルを考慮し、将来的な産業・観光分野での地方創生メニュー（産官民が協調・連携し、戦略的に取り組むエリア）を提案する。

